

補助金で導入可能！

ナースコール、見守りセンサーと連動できる Wi-Fiインカムのご提案



<http://cleartalkcom.net>

【インカムの普及率】

Q.1) インカムってどれくらい利用している？

→介護事業所全体の5.4%しか利用していない…

→Wi-Fi設備は50%以上の事業所が整っているのに…

Q.2) なぜインカムを利用をしない？

→a)現場職員が使いこなせるか不安…

→b)導入コストが高い…

→c)投資に見合うだけの効果がない…

A) クリアトークカムなら上記の悩みを解決！

→Wi-Fi設備があり、インカムが未導入の事業所様は**今がチャンス！**

→a)ワンタッチでマイクのON/OFFが可能なので、**操作が分かりやすい！**

→b)**補助金**が**利用可能**なので、お安く導入+ランニングコスト不要！

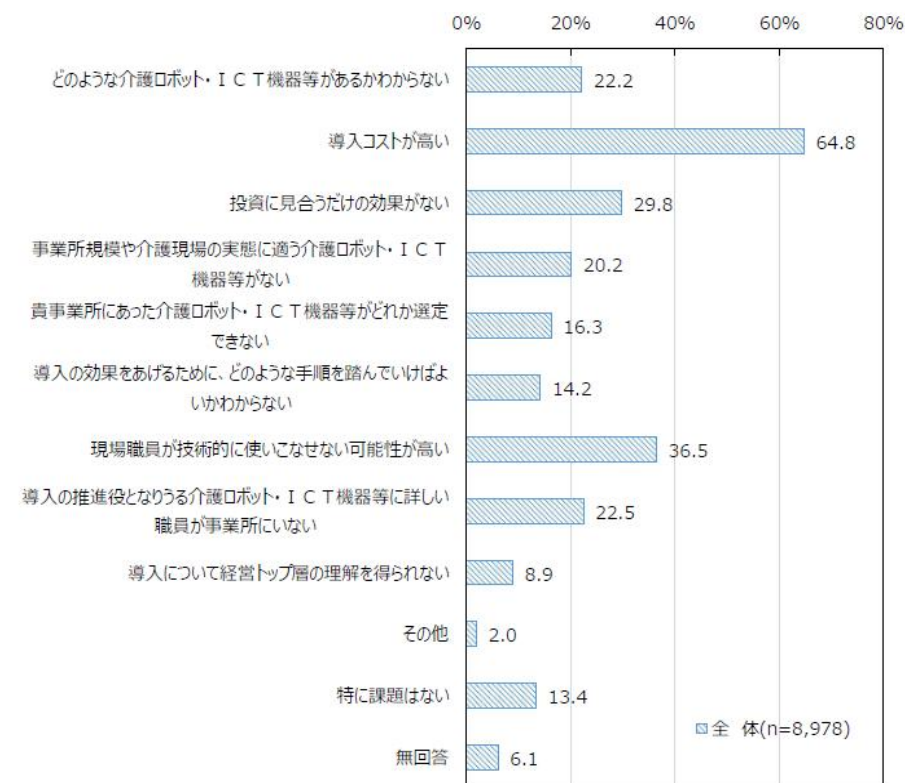
→c)次ページでインカムの**導入効果**を詳しく解説！

図表 15-3-1 介護サービス系型別介護ロボット・ICT 機器等の利用状況（「日常的に利用している」）

（単位：件、％）

		全体	訪問系	施設系 (入所型)	施設系 (通所型)	居住系	居宅介護 支援
回答事業所数		8,978	2,734	1,172	2,643	1,054	852
その他の ICT機器等	施設内の無線ナースコール機器	24.8	13.1	53.4	26.9	38.0	1.6
	インカム、ネックスピーカー	5.4	3.2	14.4	4.5	6.5	2.0
	施設内のICT機器同士の通信のためのWiFi設備	52.8	44.4	65.7	56.9	58.7	43.7

図表 16-1-1 介護ロボット、ICT機器等の導入についての課題



【インカムを使って介護業務を効率的に】

チーム作業を広いエリアで行う現場の困り事は？

「人探し」 「情報共有」 「新人教育」



現場に導入されている従来のPHSや口頭では…

- 1) 電話しても（連絡をとりたくても）相手が出ない → **誰かが聞いているので応答がある**
- 2) 1対1会話のため、情報が共有されにくい → **n 対 n のコミュニケーション**
- 3) 作業中は電話（相談）しにくい → **気にせずマイクに喋りかけるだけ**



インカム導入を導入された結果…（実際のユーザー様の声）

- ・ **人探しの手間（歩き回る歩数、労力、時間）が激減した**
- ・ **看護師との連携、処置などの対応がスムーズになった**
- ・ **全体への情報共有、申し送り、ヘルプ要請が楽になった**
- ・ **離れた場所でも状況を確認して、アドバイス出来るようになった**
- ・ **外国人スタッフの日本語習得が飛躍的に進んだ** ・ **一人じゃない安心感がある**



【主な特長】

POINT

1

Bluetooth対応ヘッドセット

ワイヤレス、骨伝導タイプの防水ヘッドセットを採用。
ハンズフリーで作業しながら会話出来ます。

POINT

2

多重通話

複数名での同時通話が可能で、
一斉に情報共有したり、緊急時は通話に割り込めます。

POINT

3

グループ分け機能

子機のボタンを押すだけで
1Fのインカムはグループ①、
2Fのインカムはグループ②と
グループを分けられます。

POINT

4

複数の充電方法

バッテリーを外しての充電、
USB-Cケーブル経由での充電と
複数の方法で充電が可能です。

【ナースコール、見守りセンサーとの連動】

■ ナースコール連動



■ 対応ナースコールメーカー

- ・ アイホン社「Vi-Nurse」
- ・ ケアコム社「EXシリーズ、 Riefia 」
- ・ ナカヨ社「NYC-X、 NYC-Si」

■ 見守りセンサー連動



■ 対応メーカー

- ・ パラマウントベッド社「眠りスキャン」
- ・ バイオシルバー社「aams」

【補助金を活用しておトクに導入】

使用可能な補助金（神奈川県一昨年実績）

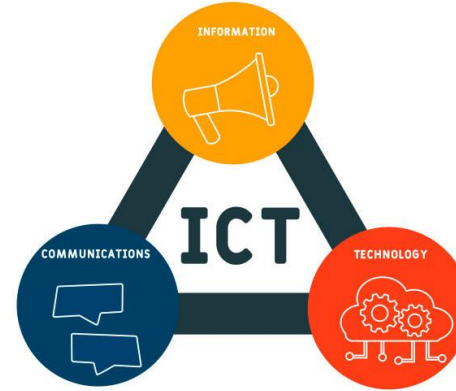
・ ICT導入支援事業費補助金

上限 **100～260**万円

※事業所の職員数による

補助率 **3/4 or 1/2**

※LIFE（科学的介護情報システム）利用等に関する条件あり



・ 介護ロボット導入支援事業補助金

上限 **750**万円

補助率 **3/4 or 1/2**



※補助金名称、上限額、補助率、条件は年度や都道府県により異なります。
詳細は各都道府県担当部署へ「施設様より」お問い合わせください。

【インカムシステムのみ利用時】



子機 (WFDI-TC3A)

コンセント1箇所



子機 (WFDI-TC3A)

Wi-Fi
※5GHz帯、单独SSID推奨

【スマホアプリ vs 専用子機】

■ スマホアプリ



長所

- ・ 1台の端末で複数の業務をこなせる

短所

- ・ バッテリーが長時間持たないため予備機やモバイルバッテリーが必要
- ・ アプリ競合により正常動作しない場合が多い
- ・ 通知件数が多く見落としのリスクがある

■ 専用子機



長所

- ・ 操作が簡単ですぐ使える
- ・ バッテリーを交換すれば24時間365日稼働出来る

短所

- ・ 外線発信が出来ない
- ・ 防水機能がない
- ・ スマホよりも機器が分厚いためかさばる